

学校給食に使う
県内産のお米が

不足

しています…



不足分
130トン

子ども達の笑顔のために JAにお米の出荷をお願いします。

学校給食用米確保運動の供給目標数量は2,500トン。
しかし、130トンの県産米が足りません。

学校給食への
供給目標数量
2,500トン

28年度の学校給食
供給見込量2,370トン

なぜ、学校給食に県産米を供給するの？

農業理解対策

子ども達に「ごはん食の意義や農業の大切さ」を理解してもらうことにより、「地産・地消」の一層の普及・定着を図るため

価格安定対策

本県系統集荷量の約8割を供給している県学校給食会への販売価格が「概算金決定の大きな要素」となっており、学校給食にお米を供給することは「販売先・価格の安定確保」につながるため



JAグループ神奈川は、米飯給食を通じて食農教育・地産地消を定着させ、生産者所得の確保を目指した、学校給食用米確保運動に取り組んでいます。

平成26年度から、JAグループ神奈川では
生産者の十分な理解を前提に、飼料用向米を含んだ水田のフル活用に取り組んでいます。

JAグループ神奈川